

平成 26 年度
浜松工業会

浜松支部総会

平成 26 年 5 月 17 日 (土)

総	会:	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館	会議室
記念講演会:		静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館	会議室
新HP紹介:		静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館	会議室
懇親パーティ:		静岡大学浜松キャンパス	南会館(生協)	

浜松工業会 浜松支部

浜松支部総会 行事一覧

日 時	平成 26 年 5 月 17 日 (土曜日)		
開 場	14:40※		
総 会	14:50～15:50	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館 会議室
記念講演会	16:00～17:40	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館 会議室
新HP紹介	17:40～18:00	静岡大学浜松キャンパス	佐鳴会館 会議室
懇親パーティ	18:10～20:00	静岡大学浜松キャンパス	南会館(生協)

※ 浜松工業会の本部総会開催ため、浜松支部関係者はこれより前の入室はご遠慮ください。

総会次第

14:50～15:50

佐鳴会館 会議室

-
1. 開会の辞 (八木 績)
 2. 支部長挨拶 (鈴木由則)
 3. 来賓挨拶

浜松工業会会長	大須賀 俊彦 様
静岡大学大学院工学研究科長	佐古 猛 様
静岡大学大学院情報学研究科長	酒井 三四郎 様
静岡大学電子工学研究所長	三村 秀典 様
 4. 議 事 (議長 鈴木由則)

第1号議案	平成25年度事業報告	(仁科善雄)
第2号議案	平成25年度収支決算報告	(森下繁男)
	同監査報告	(西尾國夫、浅井 仁)
第3号議案	平成26年度事業計画	(仁科善雄)
第4号議案	平成26年度予算	(森下繁男)
第5号議案	浜松支部会則の改正と追記	(鈴木由則)
第6号議案	役員交代について	(鈴木由則)
 5. 新副支部長紹介 (八木 績)
 6. 新副支部長挨拶
 7. 閉会の辞 (八木 績)

第 1 号議案 平成 25 年度 事業報告

スローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」の下に、昨年度に続き「平成 26 年度浜松支部総会の参加者のさらなる増加」と「平成 25 年度浜松支部の単年度会計収支の均衡」に取り組み、目標を達成しました。

1. 総務委員会

八木総務委員長

- ① 諸会議 会議の開催時間、配布資料、議事進行を工夫し、役員が参加しやすい会議にしました。
- 役員会 役員総数の約 1/3 の 50 名以上の参加者を目標としましたが、40 名程に止まりました。
- 常任幹事会 年度初めの 6 月に十数年振りに開催しましたが、総員 50 名に対して参加者は 9 名と 2 割に至りませんでした。このため、常任幹事の意識向上と世代交代を促しました。
- 委員会 各委員長が主催して開催してきましたが、人員の確保が課題として残りました。
- 顧問会議 年度初めの 4 月に開催し、事業および収支決算の報告、事業計画(案)および予算(案)、浜松支部会則の改訂、役員交代、支部総会来賓招待者の人選などについて、指導と助言を頂きました。
- 正副支部長会 役員会、常任幹事会、および顧問会議の準備に 5 回、その他合計で 12 回開催しました。
- ② UT 相談室 登録協力企業は 7 社増え 25 社、UT 申込者は 4 名、各々 1 名の雇用と試験雇用に繋がりました。
- ③ 結婚相談室 相談件数は 11 件減り 216 件、新規登録者数は男女それぞれ 5 名と 8 名増え 26 名と 30 名、昨年度に続き 1 組成立しました。
- ④ 趣味の会 新たに佐鳴グリーンクラブが誕生し、趣味の会は 4 団体になりました。
- ⑤ (公財) 浜松科学技術研究振興会 大学と地域社会の交流を促すために、4 支部の講演会を支援しました。
- ⑥ 支部間交流 正副支部長が他支部総会(静岡、愛知、東京、阪奈和)に参加しました。
- ⑦ 浜松支部総会 支部総会を平成 25 年 5 月 18 日(土)にグランドホテル浜松にて開催しました。

2. 組織委員会

仁科組織委員長

- ① 組織強化 企業毎の代表幹事の選出は、会員が 10 名以上在籍する企業および企業グループ主要 53 社について、その充当率を 60% から 90% に引き上げることができました。卒業年度毎の代表幹事の選出は、H26 年度の支部総会に 20 歳代の会員を招待し、進めていきます。
- ② 名簿メンテナンス 退職情報を 10 社から入手し、企業会員から個人会員へ名簿変更しました。
- ③ 会報「Technopia」の配布 第 64 号と第 65 号(ダイジェスト版)をそれぞれ約 4,500 部配布しました。
- ④ 懇親パーティ券の販売 企業幹事には各企業の会員数の 1 割の数を、支部役員および会費の支払い実績のある個人会員には各 1 枚を配布し、目標の 210 枚に対して 221 枚販売しました。
- ⑤ 執行役員選考委員会 正副支部長からなる選考委員会を開き、会員の中から改選執行役員 4 名を選出しました。

3. 事業委員会

神谷事業委員長

- ① 支部総会記念講演会 「革新的二次電池の最先端の研究開発動向」と「グローバル市場で生き残るための日本のものづくり」の 2 本の講演会を開催しました。講演後には資料の請求など多数の問合せがあり、好評を博しました。
- ② 支部総会懇親パーティ 目標の 230 名に対し 170 名の参加を得ました。テーブルチェンジ、ゲーム、景品配布などの工夫をして、新しい出会いの場を提供しました。参加者の増加をはかるため、出口アンケートに基づいて改善策を練りました。
- ③ 交流会 10 月の第 2 回役員会と同日に開催しましたが、初めての試みで報知が行き届かず、26 名の参加に止まりました。
- ④ 役員新年会 昨年度に引き続き 1 月に開催し、参加者は 29 名から 34 名に増加しました。
- ⑤ 佐鳴湖駅伝大会 浜松支部から 2 チームが参加し、4 企業と浜松支部が賞品を提供しました。

4. 広報委員会

野中広報委員長

- ① 会報「Technopia」の発行 第 64 号と第 65 号(ダイジェスト版)を各 4,500 部発行しました。会誌を 10 の図書館に寄贈しました。また、Technopia 本体を第 65 号から電子体に移行しました。
- ② 浜松支部 Web 事業 役員会の中に HP 部会を設立し、会員の情報発信および情報交流のツールとして利用できる先進的な新 HP を制作し、4 月 13 日に試験版を公開しました。手始めとして Technopia 第 65 号の全記事をここに掲載しました。
- ③ 広告掲載 広告主は、目標の 5 社に対して 3 社を新規に獲得しましたが、2 社減ったため、計 30 社と増加は 1 社に止まりました。

5. 会費委員会

森下会費委員長

- ① 費用処理の健全化 年度内に発生した費用を次年度に先送りせず、年度内に処理することを貫徹しました。
- ② 会費徴収 総額は、予算に対して約 11 万円の減少に終わりましたが、個人会費は、会費納入を文書で通達することで、昨年よりも約 12 万円増加しました。
- ③ 懇親パーティ券販売 売上は、H26 年度のパーティ券 51 枚の売上 25.5 万円を加算すると、予算に対して約 3 万円増加し、目標を達成しました。
- ④ 収支 収入は、予算に対して支部年会費が約 11 万円減り広告収入が約 18 万円増え、計約 7 万円増加しました。支出は、編集・印刷費が 18 万円増え、通信費、旅費・交通費、総会費が減り、計約 4 万円減少しました。この結果収支は、予算の約 6 千円に対して約 11 万円増え約 12 万円の黒字となり、目標の「単年度会計収支の均衡」を達成できました。

第 2 号議案 平成 25 年度 収支決算報告 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

平成 26 年 3 月 31 日現在

●収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	説明
支部年会費	2,300,000	2,185,500	-114,500	1,500 円×1,458 人
支部交付金	636,000	647,370	11,370	協賛金(浜松工業会・浜松科学技術研究振興会)・他
パーティ券	1,400,000	1,433,500	33,500	H26 年度分 51 枚(255,000 円)を含む
会報広告代	400,000	577,500	177,500	掲載企業数:30 社
預金利子他	200	131	-69	普通預金、郵便普通貯金
交流会費	300,000	274,000	-26,000	交流会(10 月)、新年会(1 月)
雑収入	40,000	32,000	-8,000	阪奈和・愛知・静岡の各支部
小計	5,076,200	5,150,001	73,801	
前年度繰越金	3,698,681	3,698,681	0	
合計	8,774,881	8,848,682	73,801	

●支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	説明
総会費	2,100,000	2,048,554	-51,446	総会・パーティ・記念講演・他
印刷費	1,680,000	1,847,765	167,765	会報第 63 号, 64 号, 65 号(ダイジェスト)、HP 制作・他
会議費	400,000	385,259	-14,741	役員会・正副支部長会・顧問会議・他
交流会費	300,000	348,321	48,321	交流会(10 月)、新年会(1 月)
通信費	310,000	201,587	-108,413	会報第 64 号, 65 号(ダイジェスト) 送送料・他
旅費・交通費	120,000	40,805	-79,195	他支部総会出席
慶弔費	40,000	52,646	12,646	他支部総会祝儀・他
振込手数料	40,000	34,100	-5,900	郵便振替料・送金手数料
雑費	50,000	70,433	20,433	委員会活動費・佐鳴掲載料他
予備費	30,000	0	-30,000	
小計	5,070,000	5,029,470	-40,530	
次年度繰越金	3,704,881	3,819,212	114,331	
合計	8,774,881	8,848,682	73,801	

財産目録

普通預金	静岡銀行	58,664
郵便振替口座	郵便局名古屋	1,586,718
郵便定期貯金	三方原郵便局	2,000,000
郵便普通貯金	三方原郵便局	105,992
現金		67,838
合計		3,819,212

上記の通りご報告致します。

副支部長 会費委員長 森 下 繁 男 ㊟

平成 25 年度収支決算につき、関係書類について、監査を行ったところ、

いずれも正確であったことを証明します。

平成 26 年 4 月 10 日

監 事 西 尾 國 夫 ㊟

監 事 浅 井 仁 ㊟

第 3 号議案 平成 26 年度 事業計画 (案)

引き続き同じスローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」の下に、「平成 27 年度浜松支部総会への若い世代の参加者の倍増」、「H26 年度浜松支部の単年度会計収支の黒字定着」に加え、「会員の相互交流」を促進します。

1. 総務委員会

八木総務委員長

活動方針 浜松支部の諸活動に、役員が気軽に参加して協力できる環境を、さらに整えます。

- ① **諸会議** 幅広い世代の役員が関心を持ち、参加したくなるような環境を整えます。
 - 役員会** 前年度結果と次年度計画を審議する年度初めの春会議と進捗を審議する秋の会議の年 2 回に、会議を絞り、前年度に引き続き役員総数の 1/3 の約 50 名の参加を目指します。
 - 委員会** 会務を担う役員を執行役員として組織化し、支部活動の中心である委員会を実体化します。
 - 顧問会議** 年度初めに開催し、事業および収支決算の報告、事業計画(案)および予算(案)、浜松支部会則の改正、役員交代、支部総会来賓招待者の人選などについて、指導と助言を頂きます。
 - 正副支部長会** 役員会と顧問会議の準備に年 3 回、その他は適宜開催します。
- ② **UT 相談室** 登録料を下げて新規登録企業を 5 社増やすとともに、効率的な運営で単年度収支を健全化します。
- ③ **結婚相談室** ニューカップルの誕生を目指します。また、若い世代の結婚相談にも取り組みます。
- ④ **趣味の会** 既存の趣味の会の活動を支援し、新たな会の設立を目指します。
- ⑤ **(公財)浜松科学技術研究振興会** 財団の運営に協力します。
- ⑥ **支部間交流** 正副支部長が交代で他支部総会に参加します。
- ⑦ **浜松支部総会** 総会を平成 26 年 5 月 17 日(土)に母校の浜松キャンパスで開催します。

2. 組織委員会

仁科組織委員長

活動方針 企業幹事および卒業年度毎の幹事の活動を活性化して、浜松支部の組織を強化します。

- ① **組織強化** 会員が10名以上在籍する企業および企業グループ主要53社の支部活動への参加率は80%を目指します。さらに20歳代の会員に対しては、卒業年度毎の代表幹事を設定し、5学年以上からの幹事選出を目指します。
- ② **名簿メンテナンス** 企業会員の退職情報を引き続き入手し、企業会員から個人会員へ移行し、名簿情報を確かなものにします。
- ③ **会報「Technopia」の配布** 第 66 号、第 67 号をダイジェスト版で配布します。
- ④ **懇親パーティー券の販売** 販売目標を 230 枚とします。

3. 事業委員会

神谷事業委員長

活動方針 大学、企業、同窓生の絆を深める仕掛けを考案し、各事業への参加者増加と活性化に向けたネットワーク作りを引き続き目指します。また、事業収支の健全性を確保します。

- ① **支部総会講演会** 地元企業の経営者を講師に迎え、「マネジメント」に関する講演会を開催します。
- ② **支部総会パーティー** 会場を母校の浜松キャンパスで開催し、チケットを 7 千円から 5 千円に下げ、20 歳代を無料で招待し、前年度に引き続き 230 名の参加を目指します。
- ③ **交流会** 前年度に引き続き、10 月の第 2 回役員会と同日に開催します。
- ④ **全国佐鳴ゴルフ大会** 11 月に開催し、浜松支部から 60 名、他支部を合わせて総勢 100 名の参加を目指します。
- ⑤ **役員新年会** 恒例行事として、1 月に開催します。
- ⑥ **佐鳴湖駅伝大会** 浜松支部から 3 チームの参加を目指します。

4. 広報委員会

野中広報委員長

活動方針 新 HP を浜松支部の情報発信および情報交流の中心に据え、Web の活用を推し進めます。

- ① **浜松支部 Web 事業** 新 HP の正式版を 5 月 18 日に公開します。新 HP から支部総会、役員会、各委員会、UT 相談室、結婚相談室、各趣味の会、母校浜松キャンパスの最新情報を時事発信します。加えて、会員に対して自らの記事等の書込みを開放し、相互交流のツールとしての利用を促進します。
- ② **会報「Technopia」発行** 新 HP 上で電子体として発行します。なお、冊子体についてはダイジェスト版を発行します。
- ③ **広告掲載** Technopia の電子体発行への移行に伴い、広告は新 HP 上のバナーとして募集し掲載します。

5. 会費委員会

森下会費委員長

活動方針 単年度会計収支の黒字を維持し、会費収入の適正処理および会費収入の増加をはかります。

- ① **収入管理** 個人会員の会費の多年度一括納入および次年度の懇親パーティー券の売上げを前受処理し、単年度収入会計を適正化します。
- ② **会費徴収** 個人会員に対して、会費の支払い手段を多様化し、会費納入額を 5% 以上増やします。また、企業会員に対しても、組織委員会と協力して、会費納入率を 5% 以上改善します。
- ③ **事業別予算** 事業委員会、広報委員会が執行する個別の事業に対して、それぞれの収支均衡を目指します。

第 4 号議案 平成 26 年度 予算 (案) (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

●収入の部

(単位：円)

項 目	昨年度実績	予算額	増減	説 明
支部年会費	2,185,500	2,296,500	111,000	1,500 円×1,531 人(昨年実績 5%増)
支部交付金	647,370	1,050,000	402,630	協賛金(浜松工業会・浜松科学技術研究振興会)・他
パーティ券	1,433,500	1,150,000	-283,500	5,000 円×230 枚
広告代	577,500	300,000	-277,500	HP 掲載広告料
預金利子他	131	200	69	普通預金、郵便普通貯金
交流会費	274,000	400,000	126,000	交流会、新年会
雑収入	32,000	0	-32,000	他支部からのご祝儀は互に中止の予定
小計	5,150,001	5,196,700	46,699	
前年度繰越金	3,698,681	3,819,212	120,531	
合 計	8,848,682	9,015,912	167,230	

●支出の部

(単位：円)

項 目	昨年度実績	予算額	増減	説 明
総会費	2,048,554	1,300,000	-748,554	総会・パーティ・記念講演・他
レジャー関係費	1,847,765	860,000	-987,765	会報(ダイジェスト)第 66 号, 67 号の編集・印刷・運送
HP 関係費		500,000	500,000	HP 制作、サーバレンタル、管理用 PC・他
委員会活動費		300,000	300,000	各委員会の新事業・会議、趣味の会補助、他
会議費	385,259	400,000	14,741	役員会・正副支部長会・顧問会議
交流会費	348,321	450,000	101,679	交流会、新年会
通信費	201,587	200,000	-1,587	総務、会費関係の連絡
旅費・交通費	40,805	120,000	79,195	他支部総会出席・他
慶弔費	52,646	40,000	-12,646	慶弔規定による支出・他
振込手数料	34,100	50,000	15,900	郵便振替料・送金手数料
雑費	70,433	100,000	29,567	佐鳴掲載料、佐鳴駅伝賞金、インク代、他
予備費	0	30,000	30,000	調整費
小計	5,029,470	4,350,000	-679,470	
次年度繰越金	3,819,212	4,665,912	846,700	
合 計	8,848,682	9,015,912	167,230	

*各科目間の流用は認めさせていただきます。

第 5 号議案 浜松支部会則の改正と追記

【目的及び事業】

第 4 条 本会は、次の事業を行う。

1. 会報の発行。
2. 会員名簿の発行。
3. その他、本会の目的達成に必要な事業。



1. 会員名簿の作成。
2. 会員への情報提供。
3. 会報の発行。
4. その他、本会の目的達成に必要な事業。

【委員会】

第 19 条 本会に下記の委員会を置き、会務を執行する。

(省略)

1. 総務委員会

(省略)

- (1) 総会及びその他の会議開催に関する事項。
- (2) 渉外に関する事項。
- (3) 趣味の会に関する事項。
- (4) 支部会則及び施行細則の改訂に関する事項。



- (3) UT 相談室に関する事項。
- (4) 結婚相談室に関する事項。
- (5) 趣味の会に関する事項。
- (6) 支部会則及び施行細則の改訂に関する事項。

2. 組織委員会

- (1) 会員名簿の発行に関する事項。
- (2) 会報の配布に関する事項
- (3) 総会パーティ券配布に関する事項。



- (1) 会員名簿の作成に関する事項。
- (2) 企業幹事および学年幹事の選出に関する事項。
- (3) 会報の配布に関する事項。
- (4) 総会パーティ券の配布に関する事項。

(8ページ目)

3. 事業委員会

- (1) UT (ユーターン) 及び SE (シニアエンジニア) 相談室運営に関する事項。
- (2) 結婚相談室に関する事項。
- (3) 産学連携に関する事項。

↓

- (1) 総会パーティ及び交流会の開催に関する事項。
- (2) 総会講演会及びその他講演会の開催に関する事項。
- (3) 母校との連携に関する事項。
- (4) 産学連携に関する事項。

4. 広報委員会

- (1) 会報発行に関する事項。
- (2) HP (ホームページ) の運営に関する事項。

↓

- (1) Web サイトの運営及び管理に関する事項。
- (2) 会報発行に関する事項。

5. 会費委員会

(省略)

【付則】 本会則は、平成 18 年 5 月 20 日より施行する。

(注) 昭和 31 年 1 月 22 日 一部改正

(省略)

平成 25 年 5 月 18 日 一部改正

↓

平成 25 年 5 月 18 日 一部改正

平成 26 年 5 月 17 日 一部改正及び追記

施行細則

第1条 総会への招待者は、次の通りとする。

1. 工学部関係 工学部長。
2. 情報学部関係 情報学部長。
3. 電子工学研究所関係 電子工学研究所長。
4. 財団関係 財団理事長及び専務理事。
5. 工業会関係 会長、理事長、浜松支部以外の支部長。
6. その他支部長が必要と認めた者。

↓

1. 大学院工学研究科長。
2. 大学院情報学研究科長。
3. 創造科学技術大学院長。
4. 電子工学研究所長。
5. グリーン科学技術研究所長。
6. 財団理事長及び専務理事。
7. 工業会会長、理事長、浜松支部以外の支部長。
8. その他支部長が必要と認めた者。

【付則】 本規程は、平成12年6月4日より施行する。

(注) 平成12年6月4日 一部改正

平成20年5月17日 ”

平成25年5月18日 ”

平成26年5月17日 一部改正及び追記

第 6 号議案 執行役員交代について

	旧役員	新役員
副支部長 総務委員長	八木 績(5 6 C/5 8 MC/9 4 DD) (株)河合楽器製作所	佐藤 徹也(6 1 M) (株)ユニバンス
副支部長 事業委員長	神谷 真市(6 2 JM) アポロ電気(株)	小栗 成哲(5 3 D/5 5 MD) ヤマハ(株)
副支部長 広報委員長	野中 詠一郎(5 3 JC/5 6 JE) (株)クラベ	芥川 豊秋(5 7 JJ) 磐田市役所産業部
副支部長 会費委員長	森下 繁男(6 1 JD) パルステック工業(株)	川合 栄一(5 9 M) アスモ(株)

平成 26 年度浜松支部執行役員

	平成26年度役員
支部長	鈴木 由則(4 9 K) ヤマハ発動機(株)OB
副支部長 総務委員長	佐藤 徹也(6 1 M) (株)ユニバンス
副支部長 組織委員長	仁科 善雄(5 6 M) (株)エフ・シー・シー
副支部長 事業委員長	小栗 成哲(5 3 D/5 5 MD) ヤマハ(株)
副支部長 広報委員長	芥川 豊秋(5 7 JJ) 磐田市役所産業部
副支部長 会費委員長	川合 栄一(5 9 M) アスモ(株)

記念講演会

16:00～17:40

佐鳴会館 会議室

演 題: マネジメントの実践「社風力」が文明をつくる
「経産省：日本が誇る『おもてなし経営』企業」ものづくりにおける未来型経営

ほうだいひろあき
講演者: 蓬台浩明氏 (株)都田建設 代表取締役社長

要 旨: 聖徳太子の時代から受け継がれてきた日本人がもつ価値観を再興しその東洋哲学に基づいた経営手法が、住まいづくりを単なる「モノ」づくりではなく「こと」づくりへと変化させる。社員、お客様、職人など関わる人にインスピレーションを生ませ個性を輝かせる。そして人生観をも魅力的に変える組織作りが「社風力」となりその手法は業界を超え多くの企業に影響を与えている。その実践についてお話いたします。

略 歴: 1994 年 静岡大学工学部光電機械工学科 卒業
1995 年 千葉大学工学部建築学科 編入学
1999 年 三井ホームを経て(株)都田建設 入社
2007 年 (株)都田建設代表取締役社長 就任
2011 年 ハーバードビジネススクール 修学
現: 明治大学客員研究員

著 書:

「サービスはかけ算」東洋経済新報社
「社員をバーベキューに行かせよう」東洋経済新報社
「もし、大統領が日本で家を建てるとしたら!？」東京書籍
「おもてなし経営」東洋経済新報社
「お客様に選ばれる社風力をつくる」日本実業出版社
「人を動かすリーダーのおもてなし力の磨き方」日本実業出版社



浜松支部からのお知らせ - 新HP紹介

17:40～18:00

佐鳴会館 会議室

懇親パーティ

18:10～20:00

南会館（生協）

司会進行	神谷副支部長		
挨拶	鈴木支部長		
来賓挨拶	静岡大学学長	伊東 幸宏 様	
	浜松工業会理事長	江間 義則 様	
乾杯	浜松工業会浜松支部 元支部長	岩田 立男 様	
合唱	佐鳴グリークラブ		

懇親パーティへようこそ！

★お楽しみ盛りだくさん★

20歳代無料！

浜松キャンパス生協食堂が会場です！

●私たちの母校を覗いてみませんか！ ●生協の料理で楽しいひと時を過ごしませんか！

会員の皆さん！ 卒業後は母校の門をくぐる機会は少ないと思います。しかし今回は、「浜松キャンパスで行う」・「懐かしい生協で行う」と言う大きな改革に挑戦します。母校に来て、久しぶりにキャンパスの雰囲気を感じ、新しく建てられた施設を見る、久しぶりに同窓生や先生に会うチャンスです。誰もが知っている浜松キャンパスだからこそ是非ご参加ください。

「名刺交換のチャンスを作ります」

積極的な名刺交換をしてください。

「世代間を越えた交流のチャンスを作ります」

多くの参加者と会話を楽しんでください。

「大学の近況、変わりゆくキャンパスの情報などが聞けます」

「趣味の会の皆様が集まれるテーブルを用意します」

ゴルフ会、テニス会、囲碁、将棋、音楽、武道、マラソン、レディスサークルなど、共通する趣味をお持ちの皆さんで集ってください。

「趣味の会の皆さんからの PR タイムを設けます」

「趣味の会設立に協力します」

趣味の会を設立したい方を募集します。

「情報交換ができます」

- ・若い世代とシニア世代の交流
- ・同世代間の交流
- ・大学の先生や就職担当教官との交流
- ・講演会講師との交流
- ・大企業及び中小企業との交流
- ・UT相談委員との交流

「プレゼントコーナーを設けます」

ゲーム形式でプレゼントが当たります。
若い参加者は特に楽しみに！

「佐鳴グリークラブの皆さんによる合唱」

是非楽しみに！

浜松工業会愛唱歌 「友よ友」

浜松工業会愛唱歌 「友よ友」

詞／相川 覚
曲／遠藤 節子

あ つ き のぞみ に こ の む ね -- を そ め
 (2. う た げ の き - け に こ ふ と う か -- ぶ せ ん
 し か に は き は ら し ひ く - ま の ら の
 へ い せ い の - み よ あ き た け て も か が や く れ き し
 か - お り ほ の か に ゆ き し と も の こ る お も か け
 た た え ん と つ ど い て い - わ え と も よ と も)
 し み じ み と つ ど い て し - の べ

「友よ友」

作詞 相川 覚
作曲 遠藤 節子

- 一、あつき望みに この胸を
 そのしはぎはら ひくまの
 平成のみよ 秋たけて
 かがやく歴史 たたえんと
 つどいて祝え 友よ友
- 二、うたげの酒に ふと浮かぶ
 戦火にちりし 白ばらの
 かおりほのかに 遊きし友
 残るおもかげ しみじみと
 つどいてしのべ 友よ友
- 三、さなる まいさか がんすいじ
 汗と涙を 流しつつ
 肩くみ合いて 舞い踊る
 若き息吹の なつかしく
 つどいて歌え 友よ友
- 四、時の流れに 名もかわる
 されど心の ふるさとは
 自由 啓発 創造の
 とわに変わらぬ 我が母校
 つどいて誇れ 友よ友

静岡大学学生歌 「われら若人」

静岡大学学生歌

われら若人

高嶋 善二 作詩
石井 歆 作曲

Allegretto 軽快に
歯切れよく

The musical score is written in a single system with six staves. The key signature has two flats (B-flat and E-flat), and the time signature is 7/4. The melody is primarily in the treble clef. The lyrics are written below the notes. The score includes various musical notations such as slurs, accents (>), and dynamic markings (v). The lyrics are: 1. おきにながれるながれるくろしおやふじのたかねのそれよりもそれよりもふかくけだかくたくましくわれらみらいをめざすわこーどのおれらわれらわれらわれらはしすおかだいがくわれらわれらわれらわれらわれらはわこーどど

- | | |
|---|---|
| <p>1. 沖に流れる (流れる) 黒潮や
富士の高嶺のそれよりも (それよりも)
深く気高くたくましく
われら未来をめざす若人の
われら われら
われらは静岡大学
われら われら われら (われら)
われらは (われらは) 若人</p> | <p>2. 岡にただよう (ただよう) 茶の香り
みかんの花のそれよりも (それよりも)
若人 清く すこやかに
われら 文化を荷う 仲間たち</p> |
| | <p>3. 潮満ちくる (満ちくる) 浜名湖や
三保の浜辺のそれよりも (それよりも)
青く 広く 美しく
われら 真理をもとむ 青年の</p> |

浜松工業会浜松支部 会則 - 平成 25 年 5 月 17 日改正及び追記版

【名称及び所在地】

第1条 本会は、浜松抗議妖怪浜松支部(以下本会という)と称する。

第2条 本会は、連絡所を佐鳴会館内(浜松市城北3丁目5-1)に置く。

【目的及び事業】

第3条 本会は、会員相互の親睦と人格の向上を図ると共に、母校の隆昌と国内外の学術文化の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、次の事業を行う。

1. 会員名簿の作成。
2. 会員への情報提供。
3. 会報の発行。
4. その他、本会の目的達成に必要な事業。

【会員】

第5条 本会は、静岡県の大井川以西に在住または勤務する下記の会員により組織する。

- 正会員
1. 浜松高等工業学校、浜松工業専門学校、静岡大学工学部、静岡大学情報学部卒業生。
 2. 静岡大学大学院工学研究科、静岡大学大学院電子科学研究科、静岡大学大学院理工学研究科、静岡大学大学院情報学研究科、静岡大学創造科学技術大学院修了生。
 3. 第11臨時教員養成所、浜松臨時教員養成所卒業生。
 4. 静岡大学工業短期大学卒業生。
 5. 上記1～4項に準ずる者で、工業会本部において承認された者。
- 特別会員 前号各学校及び電子工学研究所に在職する、又は在職した教職員で、役員会において承認された者。
- 名誉会員 本会に対して特に功績のあった者で、役員会より推薦され、総会の承認を得た者。
- 賛助会員 本会の目的及び事業に賛同する個人または法人で、役員会において承認された者。

【役員】

第6条 本会に下記の役員を置く。

- | | | |
|------|-----|------------------------------------|
| 支部長 | 1名 | 本会を代表し、会務を総理する。 |
| 副支部長 | 5名 | 支部長を補佐し、支部長事故ある時は代行する。また、委員会を統括する。 |
| 監事 | 2名 | 会計の監査を行う。 |
| 幹事 | 若干名 | 一般会務に参画する。 |
| 常任幹事 | 若干名 | 常任幹事会に出席するなど、重要な会務に参画する。 |
| 顧問 | 若干名 | 顧問会議に出席するなど、重要な会務に参画する。 |
| 名誉顧問 | 若干名 | 支部長の相談役として本会に助言する。 |

第7条 支部長および副支部長は、会員中より、役員会の議を経て、総会において決定する。

第8条 監事、幹事、常任幹事、顧問及び名誉顧問は、支部長が役員会に諮り委嘱する。

但し、常任幹事は、副支部長の経験者及び支部長が必要と認めた者、顧問は、支部長経験者及び本会に対して特に功労のあった者、名誉顧問は、現職の工学部長、情報学部長、及び電子工学研究所長、工業会の理事長、財団の理事長及び専務理事とする。

第9条 役員任期は次の通りとする。

1. 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
2. 役員に欠員が生じたときは、役員会に諮り補充することができる。
3. 補欠により選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
4. 役員は任期満了後でも、後任者が就任するまで職務を行う。

【会議】

第10条 総会は、本会の最高議決機関であり、毎年1回開催する。但し、必要に応じて、臨時総会を開くことがある。

第11条 総会は、正会員及び名誉会員により構成する。支部長は、これを招集し、その議長となる。

第12条 総会の議案は、役員会の議を経て決定する。

第13条 正副支部長の選任のほか、下記の事項は、総会の決議を経なければならない。

1. 本会則変更に関する事。
2. 事業計画。
3. 予算及び決算。
4. 会費。
5. その他、役員会において必要と認めた事項。

第14条 役員会は、正、副支部長、監事、幹事、常任幹事、顧問及び名誉顧問により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第15条 正副支部長会は、正、副支部長により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第16条 常任幹事会は、正、副支部長及び常任幹事により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第17条 顧問会議は、正、副支部長及び顧問により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第18条 会議の決議は、出席者の過半数の賛否により定める。

【委員会】

第19条 本会に下記の委員会を置き、会務を執行する。

委員会は、各副支部長を委員長とするほか、前任の委員長を含む各若干名の副委員長をおくことができる。副委員長は支部長より委嘱する。

浜松工業会浜松支部 会則 - 平成 25 年 5 月 17 日改正及び追記版

1. 総務委員会
 - (1) 総会及びその他の会議開催に関する事項。
 - (2) 渉外に関する事項。
 - (3) UT相談室に関する事項。
 - (4) 結婚相談室に関する事項。
 - (5) 趣味の会に関する事項。
 - (6) 支部会則及び施行細則の改訂に関する事項。
2. 組織委員会
 - (1) 会員名簿の作成に関する事項。
 - (2) 企業幹事および学年幹事の選出に関する事項。
 - (3) 会報の配布に関する事項。
 - (4) 総会パーティ券の配布に関する事項。
3. 事業委員会
 - (1) 総会パーティ及び交流会の開催に関する事項。
 - (2) 総会講演会及びその他講演会の開催に関する事項。
 - (3) 母校との連携に関する事項。
 - (4) 産学連携に関する事項。
4. 広報委員会
 - (1) Webサイトの運営及び管理に関する事項。
 - (2) 会報発行に関する事項。
5. 会費委員会
 - (1) 会費徴収に関する事項。
 - (2) 会計会務に関する事項。

【会計】

第20条 本会の経費は、会費及び会務の広告料、寄付金及びその他の収入をもって支弁する。

第21条 正会員及び特別会員は、年度会費1,500円を納入する。
賛助会員の年会費は、法人は一口30,000円、個人は3,000円とする。

第22条 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

【慶弔見舞】

第23条 当支部に特に貢献のあった者を対象とし、支部長が決定する。

【付則】 本規程は、平成18年5月20日より施行する。

(注)	昭和31年1月22日	一部改正
	昭和42年6月10日	〃
	昭和55年8月23日	〃
	昭和57年6月26日	一部改正及び条文整理
	昭和58年5月28日	一部改正
	昭和60年4月1日	〃
	平成12年6月4日	〃
	平成18年5月20日	〃
	平成19年5月19日	〃
	平成20年5月17日	〃
	平成23年5月21日	一部追記
	平成25年5月18日	一部改正
	平成26年5月17日	一部改正及び追記

施行細則

第1条 総会への招待者は、次の通りとする。

1. 大学院工学研究科長。
2. 大学院情報学研究科長。
3. 創造科学技術大学院長。
4. 電子工学研究所長。
5. グリーン科学技術研究所長。
6. 財団理事長及び専務理事。
7. 工業会会長、理事長、浜松支部以外の支部長。
8. その他支部長が必要と認めた者。

第2条 この細則は、役員会の議を経て変更できる。

【付則】 本規程は、平成12年6月4日より施行する。

(注)	平成12年6月4日	一部改正
	平成20年5月17日	〃
	平成25年5月18日	〃
	平成26年5月17日	一部改正及び追記